

〔尺素往來〕巡役之朝飯明日可令勤仕候此間依霖雨美物雖難得候中魚類者略名吉

〔物類稱呼〕二物一鱈なよし 此魚の總名也世にほらと云 極小なる物を江都にてをぼこと云東國

兒をおぼこと云故に加賀にてちよぼと云土佐にていきなご土州にてはいきなごを鹽小

此魚の小なる物を云加賀にてちよぼと云土佐にていきなご土州にてはいきなごを鹽小

なるものを關西關東ともにいなと呼いなは稻の莖くされて魚と成といへり然る時はいな

走遠州にてはしりと唱ふ

漁人簀の四方に網を張て是をとるを簀引と云因て簀走の名有一説に此魚河と海との潮境

を往來する頃を賞して洲走の名有とぞ江戸にては六月十五日より洲走と呼十四日迄をい

なと云也九月にいたり泥味なく脂多くしていよく味び美也色又さらし洗ふたるが如し

此時を畿内にてござらし江鮎と稱す泉州堺の名産なり

なよしぼら伊勢こい長崎にまくちと云勢州及尾張にてめうぎちと云

いせこいとは勢州鳥羽の海濱にて多く是をとり又鯉に類するをもつていせ鯉と云關西の

稱なり東國にはぼらとのみ呼也又まくちとは上古くちめといひし詞の遺りたる也めうぎ

ちとは名吉なの音義を用たる也

〔比古婆衣〕三口女

鱈は略中俗に善良また伊勢鯉ともいへり略中此魚延喜式諸國の進御また御饌の料などにも

すべて載られず其ほか古書どもにも然る例見えたることなし略註さてまた此魚をなよしと

いふは名吉の義にて運歩集に名吉又伊勢鯉かの不得預天孫之饌即以口女魚所以不進御者此其縁也とあ

る古事を忌々しみて此を食料とするうへに言忌して名吉と呼かへたるものなるべし出羽の

たりにてはミヤウケチともいふとぞ名吉と書く字音の訛れるなり

〔本朝食鑑〕八海有鱈鱈訓那而反音支附多女魚